

- 1993年(平成5年) ・事業部別収支の発表(6/30)  
 ・信号監視通信サービス開始(7/1)  
 ・公衆電話の通話料金の改定(10/1)  
 ・50bit/s専用サービスの値上げ(10/1)  
 ・ビデオテックス通信網サービスの自然画サービス開始(10/1)  
 ・簡易型携帯電話システム(PHS)の実用化実験の開始(10/5)  
 ・超高速(150Mbit/s)専用サービスの開始(10/5)  
 ・中・遠距離通話料金の値下げ(10/19)  
 ・総合デジタル通信サービスのパケット通信モードにおける専用利用型Bチャンネルパケットサービスのサービス開始(10/26)  
 ・テレドームのサービス開始(11/12)  
 ・テレワイズのサービス開始(11/19)  
 ・テレゴングのサービス開始(11/22)  
 ・迷惑電話おことわりサービス試験提供開始(12/20)
- 1994年(平成6年) ・「マルチメディア時代に向けてのNTTの基本構想」発表(1/12)  
 ・HDTV映像伝送サービスの開始(2/1)  
 ・メンバーズネットのサービス開始(2/10)  
 ・ダイヤルQ<sup>2</sup>ジャンル別利用規制開始(3/1)  
 ・マルチメディア通信の共同利用実験について発表(4/20)  
 ・テレワイズ・ワイドのサービス開始(7/19)  
 ・迷惑電話おことわりサービス開始(8/22)  
 ・ダイヤルQ<sup>2</sup>一部ジャンル申込制開始(9/1)  
 ・マルチメディア通信の共同利用実験開始(9/21)  
 ・ニューヨーク証券取引所への上場(9/29)  
 ・ロンドン証券取引所への上場(10/12)  
 ・NTTパーソナル通信網企画会社を設立(10/14、11月に事業会社へ)
- 1995年(平成7年) ・フレームリレーサービス開始(1/7)  
 ・阪神・淡路大震災発生(1/17)  
 被害:交換機(電源系)…28.5万回線  
 ➡ 1/18午前中に復旧  
 加入者系通信ケーブル…19.3万回線  
 ➡ 電話回線に起因するものは1/31復旧  
 ・基本料金及び番号案内料金の改定(2/1)  
 ・ネットワークのオープン化について発表(2/28)  
 ・テレチョイスのサービス開始(3/1)  
 ・全国の加入者交換機・中継交換機のSPC化完了(3/24)  
 ・公衆電話のテレホンカード対応化完了(赤電話がなくなる)(3/31)  
 ・「公-専」片端側接続の自由化(4/1)  
 ・ISDN用DSUの技術移転料の無償化(4/28)  
 ・全国の電話契約数6,000万を突破(5)  
 ・アメリカピクチャーテル社と提携(5/9)  
 ・「NTTカードC・プラス」サービス開始(6/1)
- ・「マルチメディアへの取り組み」を発表(6/7)  
 ・PHSサービス開始(7/1)  
 ・キャッチホンIIのサービス開始(7/3)  
 ・テレホーダイ1800のサービス開始(8/22)  
 ・通信衛星「N-STARa」打ち上げ(8/29)  
 ・専用線料金の値下げ(9/1)  
 ・セルリレーサービス開始(9/4)  
 ・アクセス網のオープン化について発表(9/28)  
 ・基本料金及び番号案内料金の改定(10/1)  
 ・テレホーダイ3600のサービス開始(10/19)  
 ・NTT株式の分割(無償交付)実施(11/24)(1株→1.02株に分割)
- 1996年(平成8年) ・顧客サービス統合システム「CUSTOM」の全国導入完了(1/16)  
 ・INSテレホーダイのサービス開始(2/9)  
 ・お話し中調べの専用番号「114番」の新設(2/24)  
 ・遠距離通話料金の値下げ(3/19)  
 ・専用線料金の改定(4/1)  
 ・ボイスワープのサービス開始(6/10)  
 ・スーパー・テレワイズのサービス開始(6/19)  
 ・アクセス網の光化展開の加速について発表(7/24)  
 ・公衆網と専用線との接続の完全自由化(10/30)  
 ・INSテレワイズ・ワイドのサービス開始(10/30)  
 ・21世紀に向けて変革するNTTのR&D発表(10/30)  
 ・NTTの経営形態について発表(12/6)  
 ・OCNサービス開始(12/25)
- 1997年(平成9年) ・発信電話番号表示(ナンバー・ディスプレイ)サービス試験提供開始(横浜・名古屋・福岡)(1/28)  
 ・遠距離通話料金値下げ(2/3)  
 ・INSテレチョイスサービス開始(3/11)  
 ・マルチメディア通信の共同利用実験が終了(3/31)  
 ・ATMメガリンクサービス開始(4/1)  
 ・ナビダイヤルサービス開始(5/1)  
 ・インターネットを利用した電報サービス「D-MAIL」開始(5/1)  
 ・ボイスワープセレクト、なりわけサービス開始(6/2)  
 ・改正NTT法(日本電信電話株式会社等に関する法律)が成立(6/13)、公布(6/20)  
 ・CATV映像伝送サービスの試験提供開始(7/1)  
 ・INSネット64・ライトのサービス開始(7/7)  
 ・国際特別第二種電気通信事業会社「NTT国際通信株式会社」設立(7/25)  
 ・エンタープライズサービス(専用線)開始(8)

- ・ソフトウェア関連業務をNTTコミュニケーションウェア(株)へ営業譲渡(9/1)
- ・ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・アナウンスのサービス開始(横浜、名古屋、福岡のみ)(10/1)
- ・国際第一種電気通信事業会社「NTT国際ネットワーク株式会社」設立(10/27)
- ・OCNダイヤルアクセス・ライトのサービス開始(12/5)
- ・エリアプラスのサービス開始(12/8)
- ・China-US太平洋海底光ケーブルネットワーク建設保守契約締結(12/17)
- ・国内通信網のデジタル化完了(12/17)
- 1998年(平成10年)・遠距離通話料金の値下げ(2/1)
- ・ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・アナウンス全国サービス開始(2/1)
- ・タイムプラスサービス開始(首都圏のみ)(2/13)
- ・2010年に向けた電力エネルギー削減ビジョン発表(2/18)
- ・新光アクセスシステム( $\pi$ システム)の運用開始(神戸)(3/19)
- ・「接続約款(接続に関する契約約款)」の制定(3/24)
- ・災害用伝言ダイヤル(171)運用開始(3/31)
- ・番号案内料金改定及び「あんない・ジョーズ」のサービス開始(5/1)
- ・INSエリアプラスのサービス開始(6/16)
- ・高速光アクセスシステム共同開発についてのベルサウス社との合意(6/17)
- ・スーパー OCN(第3種オープンコンピュータ通信網サービス)のサービス開始(6/22)
- ・ECビジネスにおける製品開発と市場拡大に向け、マイクロソフト(株)と協力関係強化を発表(7/16)
- ・ネットワークオーディオ機器「Solid Audio」の開発発表(7/23)
- ・デジタル専用サービス「デジタルリーチ」の提供開始(8/7)
- ・オフトーク通信サービスのISDN対応の開始(10/1)
- ・NTTコードレスホンの無線区画“デジタル化”宣言(10/8)
- ・「21世紀の情報流通産業に向けて」を発表(10/21)
- ・「タイムプラス」の全国展開及びISDNへの拡大(11/2)
- ・NTT番号情報株式会社の設立(12/4)
- ・ATMシェアリンクサービスの提供開始(12/25)
- 1999年(平成11年)・大阪、兵庫06地域の4ケタ市内局番の使用開始(1/1)
- ・再編成に伴う移行本部の設置、本社各部室、支社等各事業本部の廃止(1/25)
- ・NTTインフラネット株式会社の設立(1/25)
- ・「2000年問題」への取り組みについて発表(3/9)
- ・ICカード公衆電話の導入(3/24)
- ・デジタルアクセスの距離制限の撤廃(4/1)
- ・携帯電話、PHS等からのフリーダイヤル接続の提供開始(4/21)
- ・長距離国際会社「NTTコミュニケーションズ株式会社」の設立(5/28)
- ・再編成  
NTT東西会社の設立、営業開始及びNTTコミュニケーションズの営業開始(7/1)
- ・電話帳(ハローページ)へのレッドページの創設発表(7/5)
- ・「マジックボックス」の提供開始(7/12)
- ・「i・ナンバー」の提供開始(7/12)
- ・「116」土休日営業、「NTTWEST Net116」の開始(7/31)
- ・事業者識別用の電気通信番号の指定(8/3)  
(東日本0036、西日本0039)
- ・「i・スクール」の提供開始(9/1)
- ・「i・アイプラン」の提供開始(10/1)
- ・NTTコミュニケーションズ国際電話サービスの提供開始(10/1)
- ・IP接続サービス「フレッツ・ISDN」の試験提供開始(11/1)
- ・「キャッチホンディスプレイ」の提供開始(11/1)
- ・中期経営改善施策発表(11/17)
- ・「ADSL接続サービス」の試験提供開始(12/24)
- 2000年(平成12年)・「INSネットサービス」が西日本エリアで300万回線突破(1/31)
- ・NTT西日本の地球環境憲章制定(2)
- ・NTTスマートコネクト株式会社の設立(3/1)
- ・「電話会社選択サービス」の認可申請(4/10)
- ・NTT西日本の情報流通市場への取り組みを発表(4/25)
- ・「ワイドLANサービス」の提供開始(5/1)
- ・金沢市内で地域情報流通ビジネスのFTTH共同トライアル開始(5/18)
- ・「フレッツ・ISDN」の本格提供開始(7/7)
- ・県内市外通話料金の値下げ(10/1)
- ・「ケンタくん」「ワリマックス」「ワリビッグ」の提供開始(10/1)
- ・「D.prosol」の提供開始(10/11)
- ・市内定額型割引サービス「i・アイプラン」の加入電話への拡大(10/16)
- ・「メガデータネット」の提供開始(10/31)
- ・大阪に「サイバービジネスワールド」を開設(12/1)

- ・「INSネットサービス」が全国（NTT西日本・NTT東日本計）で1,000万回線を突破（12/8）
- ・情報流通プラットフォーム技術の実験開始（12/12）
- ・「ADSL接続サービス」の本格提供開始（12/26）
- ・「フレッツ・ADSL」の提供開始（12/26）
- ・「光・IP通信網サービス（仮称）」の試験提供開始（12/26）
- 2001年（平成13年）**
  - ・「スーパーケンタくん」「ケンタくん5」の提供開始（1/11）
  - ・「フリーアクセス」「ナビアクセス」「APナビ」の提供開始（2/20）
  - ・フリーアクセスにおける「番号ポータビリティ」の受付開始（3/16）
  - ・「ナンバー・ディスプレイ」が全国（NTT西日本・NTT東日本計）で500万回線を突破（3/31）
  - ・「デジタルアクセス6000」の提供開始（4/2）
  - ・「ダイヤルQ<sup>2</sup>」のサービス向上に向けた取り組み等の発表（4/24）
  - ・マイラインの開始（5/1）
  - ・市内通話料金の値下げ（5/1）
  - ・「アーバンイーサ」の提供開始（5/31）
  - ・改正NTT法の成立（6/15）
  - ・「Lモード」の提供開始（6/29）
  - ・「フレッツ・ISDN」接続先番号の統一（7/1）
  - ・「ハローページ（50音別電話帳）」の発行方法等の見直し（7/1）
  - ・「ティーエフエム・インタラクティブ株式会社」の設立（7/9）
  - ・「デジタルシネマ配信実験」の開始（7/17）
  - ・「ボイスボックス」の提供開始（7/26）
  - ・「Bフレッツ」の提供開始（8/1）
  - ・「フレッツ・ISDN」が全国で100万回線を突破（8/10）
  - ・「NTT西日本ソリューション・ラボ」のリニューアルオープン（9/3）
  - ・「G.prosol」の提供開始（10/25）
  - ・「県内異名義割引サービス」の提供開始（10/26）
  - ・「Bフレッツ ビジネスタイプ」の提供開始（11/1）
  - ・「株式会社ホームプロ」の設立（11/1）
  - ・「フレッツ・スクウェア」（配信代行・課金代行サービス）の提供開始（11/26）
  - ・「フレッツ・ADSL」「フレッツ・ISDN」の値下げ（12/1）
  - ・「iモード」による電報受付開始（12/10）
  - ・「フレッツ・ADSL 8Mプラン」の提供開始（12/25）
- 2002年（平成14年）**
  - ・フレッツ回線向けファイル共有サービス「F-Cabinet」の提供開始（1/29）
- ・「加入電話・ライトプラン」の提供開始（2/12）
  - ・農業情報システム「@recolte」の販売開始（2/22）
  - ・「フレッツ・ADSL 8Mプラン」対応モデムのレンタル開始（3/1）
  - ・「ワイドLANプラス」の提供開始及び「ワイドLAN」の値下げ（3/1）
  - ・住民サービス提供システムの販売開始（3/7）
  - ・「プレミレート」の提供開始（3/21）
  - ・NTT西日本シンボルチームの見直し（3/31）
  - ・「Myビリング」の提供開始（4/1）
  - ・「NTTソルマール株式会社」の設立（4/1）
  - ・「料金回収（請求・収納）代行」サービスの手数料の見直し（4/20）
  - ・NTT西日本グループ新体制へ移行（5/1）
  - ・「Bフレッツ マンションタイプ」対応VDSLのレンタル開始及びホームPNA利用料の値下げ（6/1）
  - ・街角コンテンツ流通サービス「Foobio」の提供開始（6/19）
  - ・「フレッツ・スポット」の提供開始（7/1）
  - ・「Bフレッツ ビジネスタイプ」の割引サービスの提供開始（7/1）
  - ・JSAT株式会社への衛星資産の譲渡（7/1）
  - ・JSAT株式会社の株式取得（7/1）
  - ・「ネーム・ディスプレイ」の提供開始（7/3）
  - ・「プレミレート2」の提供開始（7/6）
  - ・「コンテンツ流通システム実証実験」の開始（7/9）
  - ・「ギガデータリンク」の提供開始（7/10）
  - ・「C.prosol」、「E.prosol」の提供開始（7/29）
  - ・「フレッツ・コミュニケーション」の提供開始（8/1）
  - ・「i・アイプラン400」の提供開始（8/1）
  - ・「Lモード」の有料番組情報料の見直し（8/1）
  - ・「Bフレッツ ファミリー100」の提供開始（9/1）
  - ・DSLサービスが開通後ご利用できない場合の工事費等の無料化（9/2）
  - ・「フレッツ・プラス」の提供開始（10/1）
  - ・TV放送と連動したブロードバンドでの「機動戦士ガンダムSEED」の配信開始（10/6）
  - ・吉本興業とのブロードバンド向けコンテンツ配信における協業推進（10/31）
  - ・「フレッツ・ADSL モア」の提供開始（11/1）
  - ・FMラジオ番組と連動したブロードバンド映像配信の開始（11/15）
  - ・電子認証ソリューションの提供開始（11/29）
- 2003年（平成15年）**
  - ・「フレッツ・グループ」の提供開始（1/24）
  - ・「フレッツ・ADSL」がNTT西日本エリアで100万回線突破（1/24）
  - ・「能力開発支援システム」の提供開始（2/28）
  - ・学校向け特別料金の提供条件の見直し（3/1）

- ・「フレッツ・ADSL」の料金値下げ(3/1)
- ・IP電話サービスに対応した端末機器の販売、レンタルの開始(3/19)
- ・電報の一括受取拒否の実施(4/28)
- ・「ディズニーワンダーランド」を開始(5/1)
- ・「N.prosol」の提供開始(5/1)
- ・関西エリアでの「フレッツサービスの広域化」の実施(5/8)
- ・携帯電話等から発信する電報料金の支払い方法の変更(5/9)
- ・「牛肉トレーサビリティシステム」の販売開始(5/12)
- ・二次元バーコード活用型ASPサービスの開発及びトライアルの実施(5/30)
- ・韓国ゲーム産業開発院オンラインゲーム分野で提携(6/10)
- ・NTT西日本エリア全域での「フレッツサービスの広域化」の実施(6/17)
- ・「アート オブ スター・ウォーズ展」と連動したブロードバンド映像配信等の開始(6/24)
- ・ブロードバンド企業への変革に向けた本社組織の見直しの実施(7/1)
- ・Bフレッツ、フレッツ・ADSLにおけるサポートメニューの提供開始(7/11)
- ・「写真Lメール」の提供開始(7/15)
- ・「フレッツ・ADSL モア24」のサービス開始(7/15)
- ・IT技術を駆使したチャレンジドのオンライン・テレワークの開始(7/22)
- ・「機能一体型コールセンターソリューション」の提供開始(7/25)
- ・NTT西日本・ラック・住友商事が高度情報セキュリティサービス分野で業務提携(7/28)
- ・「タカラヅカ on フレッツ」の配信開始(8/8)
- ・ワイヤレス映像監視ソリューションの提供開始(9/22)
- ・「GAME on フレッツ」の提供開始(9/25)
- ・「お客様サービスセンタ」及び「西日本ITオペレーションセンタ」を開設(9/30)
- ・「フレッツ・シリーズ」の契約数が230万回線突破(9月)
- ・「エキLANスポット」の実験開始(10/1)
- ・「フラットイーサ」の提供開始(10/3)
- ・携帯電話・PHSからの「フリーアクセス」への接続開始(10/21)
- ・固定電話からIP電話(050番号)への通話サービス提供開始(10/23)
- ・「法人向けIP電話サービス」の提供開始(10/29)
- ・Bフレッツ「ワイヤレスタイプ」の提供開始(11月下旬)
- ・鋼管製電柱(エコ鋼管柱)を導入開始(11/1)
- ・「フレッツ・スポット」の提供条件の拡大(11/4)

- ・「セキュリティサービス推進室」を開設(11/6)
- ・DSL回線のスペクトル管理に関する接続約款変更を認可申請(12/9)
- ・沖縄本島-宮古島-石垣島間に海底光ケーブルを敷設することを発表(12/24)

2004年(平成16年)

- ・「フレッツ・ADSL モア40」の提供開始(1/7)
- ・フレッツ・スクウェアにおける「コンテンツ料金回収代行サービス」の提供開始(1/15)
- ・「ワリマックス・プラス」の提供開始について(1/21)
- ・NTT西日本とALSOKが協業し、「ビル施設向けセキュリティソリューション」を提供開始(1/22)
- ・IPv6品質制御型コンテンツ配信実験開始を発表(1/28)
- ・国立遺伝学研究所と「グリッド」技術の共同実験開始を発表(2/3)
- ・「フレッツ・ADSL 1.5Mプラン」における「期間限定割引」を開始(2/16)
- ・「フレッツ・オフィス」及び「フレッツ・オフィス ワイド」の回線二重化メニューを提供開始(2/19)
- ・「ひかり電話ビジネスタイプ」を西日本全域にエリア拡大(2/20)
- ・ブロードバンド回線とデジタル家電を連動させたコンテンツ配信開始(3/10)
- ・「特定地域向けIPデータ通信網サービス」の提供開始を発表(3/24)
- ・固定電話から携帯電話への通話サービス(サンキューダイヤル0039)提供開始(4/1)
- ・「フレッツ・ずっと割引」及び「フレッツ・あっと割引」の提供開始(4/1)
- ・Bフレッツ ファミリー 100におけるサポートメニューの提供開始(4/5)
- ・ブロードバンド回線と無線ICタグを利用した映像配信システムを提供開始(4/20)
- ・「集合住宅向けIP電話サービス」に関する活用業務を認可申請(4/28)
- ・「フレッツ・スポット」のアクセスポイントが1,500を突破(5/31)
- ・山陽新幹線主要駅等にて無線LANサービス「フレッツ・スポット」を本格提供開始(6/7)
- ・福岡市と共同で、無線ICタグを用いた図書館システムの実証実験開始(6/15)
- ・「Lモード on フレッツ」の提供開始(7/1)
- ・Bフレッツの契約数がNTT西日本エリアで50万回線(6月)、フレッツ・ADSLの契約数を合わせると、250万回線突破(7/12)
- ・岐阜セキュリティデータセンターを利用した「クライアント端末バックアップサービス(仮称)」の実証実験を開始(7/15)
- ・大阪ガスのIP電話システムを構築することを発表(7/15)